

平成 19 年 11 月 8 日

各 位

会 社 名 ユニコムグループホールディングス株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 二 家 英 彰  
 ( J A S D A Q ・ コード 8 7 4 4 )  
 問合せ先 常 務 取 締 役 酒 井 清 行  
 TEL 0 3 - 5 6 2 3 - 8 7 4 4

### 平成 20 年 3 月期中間業績見通し ( 連結 ) の修正に関するお知らせ

平成20年3月期中間業績見通しにつきまして、平成19年10月30日付のプレスリリース「平成20年3月期中間業績見通し(連結・個別)に関するお知らせ」にて公表いたしました中間連結業績見通しを下記のとおり修正いたします。

なお、このお知らせは現時点での見込みであり、決算発表につきましては平成19年11月15日(木)を予定しております。

#### 記

- 1 . 平成 20 年 3 月期中間業績見通し ( 連結 ) の修正 ( 平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 9 月 30 日 )  
 ( 単位 : 百万円 )

	営業収益	営業利益	経常利益	中間純利益
前回発表 ( A )	6,569	331	536	267
今回修正 ( B )	6,564	450	633	251
増減額 ( B - A )	4	119	96	16
増減率 ( % )	0.1	36.0	18.0	6.0
( ご参考 ) 前期実績 ( 平成 19 年 3 月期 )	14,268	286	753	253

#### 2 . 業績見通しの修正理由

前回発表の業績見通しにおきましては、連結子会社である日産センチュリー証券株式会社において貸倒引当金繰入額を営業費用科目として、また同じく日本ユニコム株式会社においては貸倒引当金戻入額を特別利益科目として、それぞれ別個に計上しておりました。

今回、前回の見通しを修正する主な理由は、上記両科目をそれぞれ別個に計上するよりも、相殺した方がより適切な連結決算数値を計上できるものと判断し、そのような処理をした結果、前回よりも営業費用が減少したため主に営業利益が増額し、30%以上の大幅な差異が生じたためであります。

また、中間純利益につきましては、持分の異なる連結子会社間の取引に係る特別利益の計上を予定しておりましたが、監査法人との協議の結果、当該利益の計上を行わない方針を決定したため、上記の差異が生じております。

なお、個別業績につきましては、重要な差異は生じておりません。

(注) 上記お知らせの内容は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、当該数値と異なる可能性がありますので、お含み置きください。

以 上